

脳神経患者の生活を支えるケア ～活動と休息のバランスを整えよう～

2022年2月5日(土)13時ライブ配信

オンデマンド配信期間

2022年2月7日(月)～2月28日(月)

13:00～ 開会の挨拶

13:05～14:45 講演1

「生活を支えるためのリハビリテーション」

講師：医療法人社団健育会ねりま健育会病院院長

医療法人社団健育会ライフサポートねりま 管理者
酒向 正春 先生

14:45 - 14:55 休憩

14:55 - 16:15 講演2

「脳卒中後疲労を考慮した看護」

講師：聖路加国際大学大学院 看護学研究科 修士課程

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
澤井 康治 先生

会員2500円 非会員3000円

本セミナーと、3月12日第9回学術集会の両方参加で、
特典 **アマゾンギフト500円分** 進呈いたします!!



左記QRコードからお申込みいただくか、
または、氏名、所属、連絡先メールアドレス、
日本ニューロサイエンス看護学会員番号(会員のみ)を
明記のうえ okubo.neuro@slcn.ac.jp までお申込み下さい

✿講師の紹介✿

酒向正春先生



- 1987年 愛媛大学医学部卒業後、同大学脳神経外科学教室入局、脳卒中治療を専門とし脳神経外科医となる。
- 2004年 脳リハビリテーション医に転向され、初台リハビリテーション病院脳卒中診療科科長を務める。
- 2012年 世田谷記念病院副院長および回復期リハビリテーションセンター長を務め、豊富な経験と深い知見から高い成果をあげられる。
- 2013年 NHKプロフェッショナル～仕事の流儀～第200回で特集「希望のリハビリ、ともに闘い抜くりハビ」
- 2017年～医療法人社団健育会 ねりま健育会病院院長およびライフサポートねりま管理者を務め、街づくりにも取り組まれる。
- 主な著書は、「リハに役立つ脳画像第2版(2020)」「あきらめない力(2014)」など

澤井康治先生



- 2007年 国家公務員共済組合連合会三宿病院に入職し、脳卒中センターで勤務。
- 2017年 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師となる。病棟勤務の傍ら、東京都看護協会での講義や地域住民を対象にした、脳卒中予防教室開催などの活動を行う。
- 2021年～回復期リハビリテーション病院を経て、聖路加国際大学大学院看護学研究科修士課程入学、ニューロサイエンス看護学を専攻

一言：患者さんの生活を支えるケアを、一緒に考えてみませんか？

～脳卒中後の疲労(PSF)とは～

数十年の間、疲労は脳卒中後うつ病の症状であると考えられていたのは、うつ病のない患者が頻繁に疲労を訴えているという事実がありました。そして、特定症候群として「脳卒中後疲労」(Post-Stroke Fatigue:PSF)が存在するのではないかと言われるようになりました。

「脳卒中後疲労」(PSF)は、日常生活動作に影響を及ぼす慢性的で持続的な過度のエネルギー不足の状態であり、疲労感、倦怠感、意欲低下といった形で患者は訴えます。休息によって疲労は緩和されますが、患者だけでなく医療スタッフの間でも、脳卒中後疲労はあまり認識されていないため、疲労への十分な対処ができず不安や抑うつにつながる可能性があります。